戦争の惨さを実際に自分の目で見る機会を検討いただきたい。

A 教育長　現地体験は望ましいと思うが、経費の問題、日程の問題等難しい。実現できるよう意見をいただきたい。私の思いとしては、様々な機会を通して、、平和の意義を大切に教え、考えさせていくような指導を進めたい。

Q **教育現場での環境に対する取り組みについて。木を植えることの大切さを学べる機会があればと考えるが。**

A 教育長　ぜひ体験させたい。同時に様々な取り組みについて、その内容を濃くしていく必要性も感じる。

Q **先月8月21日に八街市の給食センターを訪問。ごみの減量化及びリサイクルを目的とし、給食残渣を有効利用。給食の残渣を堆肥化し、無料で市民に配る事業を展開。山武市における学校給食の残渣の処理について。**

A 教育部長　環境問題・廃棄物処理の問題として一体的に考える問題であり、市として生ごみ処理をどのように取り扱っていくかという視点が大事であると考えている。

●成東病院の改革について

Q **成東病院健全化に対する取り組みについて。医師の確保に対する、これまでの具体的な対策と今後の計画について。**

A 市長　管理者の立場ではあるが、構成市町と一丸となって医師の確保に動くという状況には残念ながら至っていない。

現在、ネットワークを構築し、より具体的な行動に取り組んでいる。

Q **独法化に向けての試算表の進捗状況について。**

A 市長　成東病院の内部改革優先という構成市町の考えもあり、独法化の作業は一時中断している。山武市としてどの程度の財政負担ができるのかという問題もあり、試算表作成についてはもう少し時間をいただきたい。

Q **成東病院の改革を進める上にも平成20年、21年以降の試算表を構築していただきたい。**

A 市長　議会の承認も必要であり、中期計画立案は必須要件であると考えてる。

公明党　関連質問

市川　陽子 議員

●給食問題について

Q **給食の残渣にかかる焼却処理費は。**

A 教育部長　4センターで1 7 0万円程度です。

Q **堆肥化されたものが花や家庭菜園及び豚の餌にも利用できる循環型社会について。**

A 教育部長　申し出の中で受けて行きたい。

●アレルギー疾患について

Q **食物アレルギー症の児童・生徒は全国で約33万人、重いショック症状を起こす子は1万8千3百人います。ガイドラインが全国教育委員会・学校へ配布されたが対応は。**

A 教育長　保護者からの相談は成東・山武のセンターで39件です。対応は、給食の配分表を保護者に提供する事で全校に共通化を図っている。家庭からの相談にはしっかり対応し今後も研究を進めていきたい。

Q **全保護者への理解を高めるためにアレルギー疾患についての研修を提案します。**

A 教育長　しっかり取り組んでいきたい。

市長　教育長同様です。

公明党　関連質問

本山　英子 議員

●財政について

Q **市民税の口座振替について伺います。年金受給者の特別徴収の方からは、通知1本で口座引き落としが行われ、皆様の不満が大きくクローズアップされましたが、普通徴収の方の口座振替について、全体の何割かを教えて下さい。**

A 市民部長　納税者の口座振替比率は、市・県民税、16・2%、固定資産税、20・8%、軽自動車税、14・6%です。ちなみに国民健康保険税は、30・7%です。

Q **口座振替を強く推進していただくという点で、今までのことがどうだったのか、また今後どのように口座振替を推進されていくのかをお聞かせ下さい。**

A 市民部長　口座振替の推進方法ですが今までも当然、口座振替の推進はしており、窓口への納付来庁時、また、納入通知書発送時の封筒の裏面等を使い、口座振替の案内をしています。

今後、更に口座振替の推進に努めてまいります。

●行政問題について

Q **副市長にお尋ねします。行政評価、人事評価について在任中に全力を注いで確立をしてほしいと思いますが、いかがでしょうか。**

A 副市長　総務省で、政策評価や行政評価を推進する部局にいました。各省庁や自治体に評価の導入をお願いする立場にありましたところ、このたび実際に自分で担当することになり、責任を覚えております。

●成東病院の改革について

Q **スリム化を急ぐべきというより待ったなしの状況にありますが取り組みを伺います。**

A 市長　公立の病院ですので、一定の制約もありますが、そういったことを、構成市町としても改革を急ぐように提言をしていますので、管理者という